



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2012-2013年度 R I 会長 田中 作次

●クラブテーマ「調和・Balance」●



第2590地区 ガバナー
露木 雄二

- 会長 飯田 泰之
- 会長エレクト 伊東 英紀
- 副会長 山田 正憲
- 副会長 吉田 隆男
- 幹事 西山 潔
- 副幹事 山本 芳弘
- 会計 朝日 達夫
- 副会計 金森 欣一
- S A A 横溝 亘
- 副 S A A 矢野 修二
- 副 S A A 河野 明光
- クラブ会報 森 永 健



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日
URL <http://www.kanagawahigashi.com/> **E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

2012-2013年度 **第5週報 No. 1752** 2012年(平成24年) 8月3日 第1752回例会記録 8月10日発行

司会 山本 芳弘 副幹事

私は暑い時には自分自身にこのような暗示をしています。‘今は涼しいよ！冷たいよ！’

皆様も暑い時に‘暑い’というよりは逆発想で逆に言ってみては如何でしょうか？

点鐘 飯田 泰之 会長

斉唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 江森 国一 職業奉仕副委員長
(第1例会のみ)

ゲスト紹介 萬納寺信崇 様 (ゲストスピーカー)
李 徳雨 様 (米山奨学生)



特別行事 米山奨学金贈呈 李 徳雨 様

こんにちは！最近猛暑が続いておりますが、皆様は如何お過ごしでしょうか。

本日〈8月10日〉のプログラム

- ◆ 斉唱 「我等の生業」
- ◆ 献立 牛フィレ肉のグリル バーベキューソース
- ◆ 卓話 「日本初のレコード吹込みと快樂亭ブラック」
芸能史研究者 岡田 則夫 様
(紹介者 小山 市康 会員)

誕生日祝

植田 清司 会員 (8月6日)



会長報告

飯田 泰之 会長

・ボーイスカウトチャリティゴルフ大会協賛のお礼状が届いておりますのでご報告致します。

幹事報告

西山 潔 幹事

- ・OWOP協会から送られてきた会報に、当クラブが寄贈した井戸の記事が掲載されておりますので回覧します。
- ・次週例会終了後に8月度定例理事会を開催致します。
- ・8月、9月の例会スケジュールについて、近日中に事務局より案内を発信します。

委員会報告

雑誌委員会 副委員長 天野 公史

2012年ロータリーの友8月号を紹介致します。

横組み1頁はRI会長のロータリー体験のメッセージ、37頁～52頁にはロータリーの基本知識について、また、希望の風奨学金、米山奨学金事業についてもご確認下さい。5頁～16頁までは会員増強成功の秘訣が掲載されています。是非、お読み下さい。

縦組みは福島県飯舘村村長のスピーチに始まり、各クラブの卓話、ロータリーメンバーのエッセイや訪問記、そして様々な活動が記載されております。

最後に表紙の写真についての解説が28頁に書かれています。

今月号も素晴らしい記事が満載ですので、是非、ご一読下さい。

スマイルボックス

河野 明光 副SAA

植田清司君 お誕生日のお祝い、ありがとうございました。気持ちだけはいつまでも若いと思っています・・・。

飯田泰之君 ①ゲストスピーカーの萬納寺様、ようこそいらっしゃいました。本日は、卓話、楽しみにしております。よろしくお願ひ致します。②伊澤さん、お久しぶりです。

鴻 義久君 夏はやっぱり「うなぎ」ですね。月山さん、昨日はお世話になりました。ラーメンはいらないくらい飲んで食べました。ありがとうございました。

月山 勇君 昨日の、ご町内旨い物会ではハプニング続出。開けてビックリ小池さん・・・！笑いの絶えない楽しい会でした。また次回よろしく。

山本 登君 冷房病にて体調不良です。節電もしているのに・・・。

小池将夫君 ①須永さん、8月1日の花火ではお世話になりました。打上げ直下の轟音はすごかったですね。戦場(船上)カメラマンになった気分でした。②月山さん始め、ご近所会の皆様、“うな重”マジックショー、楽しく美味しかったです。ありがとうございます。

西山 潔君 萬納寺様、本日の卓話、よろしくお願ひ致します。楽しみにしております。

山田富雄君 昨日は、食事会、大変楽しく過ごさせて頂き、鴻会員、月山会員、小池会員、渡邊会員、ありがとうございました。

矢野修二君 暑中見舞い申し上げます。

伊東英紀君 萬納寺様、本日の卓話、楽しみにしております。

伊澤政宏君 ①長い間お休みさせて頂きました。②加藤さん、天野さん、山田富さん、ありがとうございました。③山本登さん、色々お世話になりました。

横溝 亘君 オリンピックも熱いですが、日本も熱いです。皆様、体調にはくれぐれも気を付けて下さい。

脇田いずゞさん 毎週同じことを言っちゃいます！暑いですが！

茂木知子さん ～和顔と寝顔～和顔になりたいと望んでいる吉田会員。さも何かを読んでいるように居眠るその寝顔、“最高だぜ～”。

金森欣一君 ①先週は高野山と熊野三山を巡って来ました。宿坊はエアコンもなく、まさに修行でした。②娘が居酒屋で年齢認証を受けたそうです。いくら夏休みとはいえ、28歳にもなってまだ高校生にしか見られないとは、親としてちょっと複雑です。

小山市康君 萬納寺信嵩様、お待ちしております。本日の卓話、よろしくお願ひします。

高瀬伸一君 母校、三重県立松阪高校が甲子園出場を決めました。創立102年目の快挙です。

河野明光君 社内の温度設定を28℃と定めた手前、今更温度を下げろと言うことも出来ず、人目をばばかり車の中で涼んでいる、自分に優しい河野です。

8月3日	18件	37,000円
本年度累計		265,000円

出席報告

金森 欣一 出席委員

会員総数	57名	(40+17)名
出席会員数	45名	(32+13)名
出席率		84.91%
ゲスト	2名	ビジター 0名
前回補正後	88.89%	前々回補正後 84.91%

「気象台が発表する防災気象情報」

横浜地方気象台 台長 萬納寺信嵩 様
(紹介者 小山 市康 会員)



圧が急速に発達する、という予想に基づき、夕方に「大雨と雷および突風に関する神奈川県気象情報」と「大雨、雷、強風、波浪、洪水注意報」を発表した。いずれも、「竜巻など激しい突風」というキーワードが情報中に記されており、神奈川県気象情報ではタイトルに「突風」という単語を使っている。3日朝6時6分、神奈川県では竜巻発生のおそれがあるため、「神奈川県竜巻注意情報 第1号」を発表した。この場合、県内のどこで危険性が高いかはパソコンや携帯電話で「ナウキャスト」を見ることでわかる。さらに、周囲の空の変化に注意し、積乱雲が近づく兆しがあれば危険回避行動を取ることが必要である。竜巻や局地的大雨は対象とする現象の水平スケールが小さいため、予報が難しい。このような現象に対しては、気象台の発表する情報に頼るのではなく、自ら危険を察知し、回避する力を養う必要がある。

ロータリーニュース

幼児死亡率の削減を目指す国際プロジェクト

年間数百件に及ぶ未熟児の救命医療を支援するために、エジプトと米国のロータリアンが協力して、新生児のための集中治療設備をカイロ市の病院に寄贈しました。ヘリオポリス（エジプト）とミネアポリス（米国ミネソタ州）のロータリー・クラブによって実施され、「母子の健康」の重点分野に該当するこのプロジェクトは、ロータリー財団の補助金によって実現しました。

年に100万人の患者が利用するこの病院では、多くの患者に対応するための医療機器が不足していました。また、貧困層や十分に医療ケアを受けていない人々が患者の大部分を占め、全患者の25%という高い死亡率が問題となっていました。そこで、幼児の死亡をなんとか減らしたいと考えたヘリオポリスのロータリアンは、病院と連絡を取って支援方法を検討、その後、ミネアポリス・ロータリー・クラブと協力してロータリー財団の補助金に申請し、除細動器、人工呼吸器、輸液ポンプ、注射器ポンプ、診断機器を寄贈するための23,000ドルを調達しました。また、寄贈物資の使用方法を病院スタッフに教えたほか、適切な衛生管理と栄養摂取に関する研修をしています。

「プロジェクトの第1の目的は、母子の健康を改善し、幼児の死亡を減らすこと」と、ヘリオポリスの会員でロータリー公共イメージ・コーディネーターであるアヨブ・マハムド・アヨブさんは述べます。しかし、エジプトではロータリーへの認識が低く、懐疑的な人もいるため、プロジェクトを通じた人々の認識向上が第2の目的です。「ニーズを抱える人々を支援するロータリアン」の存在を知ってもらいたい、とアヨブさんは話します。

寄贈を受けた病院の小児科医、ナビル・アブデル・アジズさんは、ロータリーのおかげで胃腸障害による乳児死亡率が2%（年に数百人の割合）低下したと話します。「ロータリーの支援がなかったら、もっと多くの子どもが命を落としていたでしょう。エジプトは、このような国際的支援と理解を必要としています」

「ロータリーが与えてくれたのは寄贈物資だけではありません」

気象庁は自然災害を軽減することなどを目的として、警報・注意報を始めとした気象情報を発表している。各県には（標準的には）ひとつの地方気象台があり、各地方気象台はそれぞれの県を担当として、責任を持って警報・注意報を発表している。神奈川県民900万人の安全・安心のため、横浜地方気象台では32人の職員が働いている。

自然災害による犠牲者を減らすためには、堤防やダムの建設などによるハード面の対策と、ハザードマップや防災気象情報の活用などのソフト面の対策とがある。ハード面の対策はものを作ってしまうとそれが機能して効果を発揮する。一方、防災気象情報は作るだけ、発表するだけでは防災に結びつかない。犠牲者を減らすためには、情報が必要な人に情報を伝えること、情報を見聞きした人はそれに基づいて適切な行動をとることなどが必要である。そのためには、防災気象情報の意味や活用法を多くの人に知ってもらわなければならない。また、使う人が分かりやすい情報を気象台が発表することも重要である。

近年、自然災害の際に、適切に避難させれば命を落とさなかった事例が注目されており、避難すべき人をどうやって避難させるかが課題となっている。気象庁では様々な災害で生じた課題を分析し、気象防災情報の改善に努めている。例えば、自分のいるところが危ないかどうかを分かりやすくするため、H22年には警報・注意報の対象領域を、「湘南」「県央」などの区域から、市町村毎に変更した。今年7月11日から14日に九州北部地方で発生した「平成24年7月九州北部豪雨」の際には「これまでに経験をしたことのないような大雨」という表現を用いて気象台の危機感を伝えた。これは昨年の台風第12号による紀伊半島での災害を検討した結果、今年から開始した表現方法である。

竜巻を例として、気象情報の活用法を説明する。2010年12月3日朝7時半ごろ、鎌倉市で竜巻が発生した。その前日、日本海の低気

とアジズ医師は述べます。「貧困に苦しむ多くの親に、子どもの医療ケアという希望を与えてくれました」

この病院では、現在も新生児用の医療機器が不足しています。そのため、ヘリオポリスのロータリアンは、今後も海外のクラブと協力してロータリー財団の補助金を申請し、2015年までに不足している機器を提供することを計画しています。



アジズ医師（左から2番目）と医療スタッフ。
カイロ市にある Abou El Reesh 小児病院にて。

国際ロータリー・ニュース

未来の夢試験段階で寄せられた意見を基に

来年7月から新しい補助金モデルが全世界に導入されますが、現在までに試験地区から寄せられた意見を基に、いくつかの変更が加えられることになりました。これらの変更は、今後数カ月間に導入される予定です。

1. オンラインシステムがさらに使いやすく：地区の参加資格認定と補助金申請のためのオンラインシステムが改善されます。
2. 申請プロセスがシンプルに：グローバル補助金の申請がこれまでよりもシンプルになります。グローバル補助金の条件に関するわかりやすい説明や参考資料のリストが、オンライン申請時に参照できます。
3. 分かりやすい指針文書の作成：グローバル補助金の重点分野と持続可能性の要件を満たす上で参考となる指針が作成されます。
4. 2つの重点分野の基準を拡大：「基本的教育と識字率向上」に中等教育が含まれるほか、「疾病予防と治療」に非伝染性の疾病の予防と保健の推進が含まれます。さらに、すべての重点分野において、一定の種類のインフラ構築プロジェクトが認められます。
5. 語学試験の結果が不要に：グローバル補助金の奨学生が語学試験の結果を提出する義務がなくなります。
6. 職業研修チームの編成への変更：チームの最低人数が3名となり、財団の承認があれば、ロータリアンでない人もチームリーダーとなることができます。

7. 旅費：グローバル補助金プロジェクトを実施するための海外渡航費用に補助金が利用できます。
8. 新地区補助金の臨時費：新地区補助金の使用計画のうち、20%までを臨時費に充てることができます。
9. パッケージ・グラントの予算の下限：これまでの50,000ドルから20,000ドルに下がります。
10. 財団資金管理小委員会：財団の補助金資金の慎重な管理を行うため、地区に財団資金管理小委員会が追加されます。

これらの変更が、ロータリアンへの負担を和らげ、申請から支払までの時間の短縮につながると財団は期待しています。

未来の夢への移行に備える上で参考となるクラブ用と地区用の資料をご参照ください。



重点分野「基本的教育と識字率の向上」の基準が拡大され、中等教育が含まれます。

国際ロータリー・ニュース

2012-13年度R青少年交換学生 小幡理沙さん近況報告

8月1日16時の便にてアメリカに旅立ったR青少年交換学生小幡理沙さんよりメールが来ましたので紹介致します。

交換留学生の小幡です。

1週間程、母と母の友人と3人でグランドキャニオンなどを旅行して、6日に現地に着く予定です。

月々の連絡だけでなく、何かイベントがありましたらメールさせて頂きたいと思います。

至らないところがたくさんあると思いますが、何卒よろしくお願ひ致します。

2012年8月1日 小幡 理沙

◎次週8月17日は休会

次回《8月24日》の卓話予定
イニシエーションスピーチ

大橋 秀行 会員